

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 3月 29日

仕事の内容	生活支援体制整備事業		
担当部署・課長名	高齢介護	課 地域包括ケア推進係	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書 (ページ)	51	

予算名	款 4 地域支援事業費	項 3 包括的支援事業・任意事業費	目 4 生活支援体制整備事業費	事業 1 生活支援体制整備事業費
-----	-------------	-------------------	-----------------	------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 高齢者、生活支援サービスを担う事業主体、地域住民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 65歳以上高齢者数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 医療、介護のサービス提供のみならず、様々なサービス提供主体と連携し、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加を一体的に図る。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 第2層協議体活動実績
	③ そのために何をしましたか。 ①生活支援コーディネーター(第1層及び第2層)を配置し、社会資源の把握に努めると共に、連絡会を開催した。 ②生活支援体制整備推進部会を設置し、開催した。 ③第2層協議体(地域住民が主体となって、各地域に不足する社会資源の開発を行う会議体)の構成員として活動する方を見出すために、わがまちのささえあいを考える会を開催した。 ④③の取組みに基づき、第2層協議体を設置し、開催した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①連絡会開催数 ②部会開催数 ③わがまちのささえあいを考える会開催回数及び参加者数 ④第2層協議体の設置数・開催数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	22,350	22,711	22,902	
	成果指標	②の数値	人	-	-	8	
	目 標	②の目標値			0	8	-
		目標値設定の考え方	住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、前年度実績を目標に設定した。				
活動指標	③の数値		①19回 ②3回	①24回 ②4回	①24回 ②2回 ③3回110名 ④3カ所8回		

3 経費	事業費(実績)	円	13,937,470	16,246,095	16,153,590	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	2,741,018	3,194,545		3,109,566
		特定財源	円	11,196,452	13,051,550		13,044,024
		(うち受益者負担)	円	0	0		0
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3		0.3
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900		2,473,200
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	16,417,570	18,721,995	18,626,790		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成27年4月から、生活支援体制整備を目的として開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 地域におけるささえあいについて学び・考える「フォーラム」、「ミニフォーラム」、「ささえあいを考える会」を連続的に企画、実施することで、第2層協議体の設置ができ、地域住民がささえあいについて考える場の構築が進んでいる。

仕 事 の 内 容	生活支援体制整備事業		
担当部署・課長名	高齢介護	課 地域包括ケア推進係	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<p>市民（ささえあいを考える会参加者）から、以下の意見が寄せられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ささえあいを考える会で市民の力を強く感じた。その力を積極的に活かす取組みを進めてほしい。 ・市民の力を活かすことの趣旨は分かるが、市としての方針をもう少し明確に示してほしい。 <p>その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ捨てや雷球交換など、生活上のちょっとした困りごとを支援するサービスがあると良い。 			
6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	<p>⑥</p> <p>【取組手法の種類】</p> <p>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</p>	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
市内に7つ設置予定の第2層協議体の設置を進め、市民が主体となって生活支援体制整備について意見を交わす場を増やしてい				
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	<p>①市民が主体となって意見を交わす場では各地域の課題等について話し合う予定であり、それとは別に市内全域のレベルで生活支援体制整備事業について重点的に取り組む事項を検討する必要がある。</p> <p>②既存のサロン活動への支援や、自治会等に所属していない方への情報提供手段の検討を引き続き行う必要がある。</p>			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	<p>①市内全域のレベルで生活支援体制整備事業について重点的に取り組む事項について、生活支援体制整備推進部会で検討し、その目標を「高齢者が交流する集いの場を充実・増加させるための環境整備」とした。</p> <p>②生活支援体制整備推進部会で検討を行い、既存のサロン活動等が情報発信・共有できる催しの開催や事業広報紙の発行を平成31年度に実施する予定となった。</p>			
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容が広範にわたることから、重点的取組み事項に注力しづらい体制にある。 ・第2層協議体での議論が具体的なものになるよう、議論の整理や活動経費検討など支援を行っていく必要がある。 			
	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域のレベルでの事業目標「高齢者が交流する集いの場を充実・増加させるための環境整備」のための取組みを着実に進める。 ・事業内容や生活支援体制整備連絡会のあり方を精査・整理することで、重点的取組み事項により注力できる体制をつくる。 ・第2層協議体のあり方（議論や活動経費等）について、検討を進める。 			
(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備推進部会で、事業目標に向けた具体的な取組みの内容を議論し、調整する必要がある。 ・連絡会や第2層協議体のあり方について、市担当部署、生活支援コーディネーター等で意見を出し合う機会を設けていく。 				
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。